

株式会社●● 総務・人事部
●● 様

2011年3月1日
(社)日本能率協会(JMA)
経営ソリューションチーム
●●

御社の現場管理トップへ向けた「財務・原価解析習得研修」の件

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。また、この度は題記に関する打ち合わせに、ご多忙中、貴重なお時間をご割愛、詳しいご事情をお聞かせ願ひ、厚くお礼申し上げます。早速ですが、お打ち合わせ内容を基に、下記にて研修内容を作成しましたので、ご検討、ご準備よろしくお願ひ申しあげます。本件はアウトプットを明確にし、実務的に展開できる内容とすることが重要です。このために、各種の願ひを致し、恐縮ですがよろしくお願ひ申しあげます。また、佐藤様への本文のご送付を含め、よろしくお願ひ申しあげます。簡単ながら、題記に関し、下記内容の詳細送付方まで。

敬具

記

- 1, 目的：BS(貸借対照表)・PL(損益計算書)を中心に、ケーススタディと実務課題を中心とした演習で、各種現場活動との関係の明確化を図り、更なる、技術向上、原価改善活動のステップアップを図る一助とする。

2, 研修内容(案)：2日研修の内容(フォローアップ研修は後日設定とします)

No.	区分とスケジュール	主要実施項目	求めるアウトプット
1	【1日目】 収益構造と原価改善の要点 8:00~13:50(休憩・昼食時間を含む)	① 利益創出の必要性和対策の要点 事例：赤字で苦しむトヨタ JIT 対策 テーブル聴講 ② BS、PLと現場活動の直結化 ③ 原価計算値直結型テーマ発掘法	収益向上の大切さと対策メカニズムの明確化~現場活動・管理と改善活動の一体化を図る
2	ターゲットコスト 対策 14:00~16:20	① ターゲット中期コスト革新の進め方 ② 原価のバラつきと正しいコスト・収益把握対策 ③ 各種現場で発生する問題と対策コスト評価(演習)	理想-現実=改善ギャップ具現化事例の研究と、企業で判断を誤りがちな問題の解析法を体得する
3	実務課題 16:30~18:00	1人10件持参願った問題の解析コスト評価~アイデア貯金箱への投入~活用	実務課題の分析・整理~活用へ努力願う

研修つづき

No.	区分とスケジュール	主要実施項目	求めるアウトプット
4	【2日目】 経営診断 8:00～12:00	①「おかめ八目」形式でカリスマ社長の 企業改革（欠点）解析演習 ②ものづくり工程分析の進め方 ③工程 VE と中期・経営革新対策	生産革新の正しい進 め方（倒産を導く垂 流マネジメントとの 対比）を把握する
5	生産性指標と 現場革新 12:45～14:30	① マンデル博士の「4倍の生産性」対策 ② 時間生産性 ③ 超時間活用術対策	時間活用術面から見 た、生産性革新の技 術
6	新製品立ち上げと リスク対策 14:40～16:00	① デザイン・インとその効果 ② 新製品リスク対策事例解析 ③ まとめと質疑	垂直生産立ち上げの 技術によるムダ排除 手法を習得する

【事前準備と今後へのお願い内容】

- ① 研修前に「現場改善に役立つ経営・財務入門」を事前に入手して、事前に読みご参加下さい。また、テキスト（一部、演習問題）は送付後、事前配布下さい。
- ② 現場の問題を事前に各人が現場関係者と話した項目を含め、現在かかえる問題や対策への希望など1件程度をA4：1枚（自由形式9で記載したものを研修時にご持参ください。研修で活用致します。
- ③ 研修の最終アウトプットは各人が持ち帰り現場改善を図るテーマを企画化し、実行する内容（企画→実行計画）とします。このまとめは研修で行い、事前準備は不要ですが、1.5～2ヶ月後にフォローアップ研修の形で計画されることをお奨め致します。

3, 研修使用機材など：テキストと演習問題送付時に連絡させていただきます。

基本的には、プロジェクターとA4用紙でまとめたものを発表できる形態があれば結構です。

4, 研修担当講師：JMA・専任講師 中村 茂弘

技術的内容は直接、中村へご相談願って結構です。なお、席にいないことが多く、下記の移動中メールへご連絡をお願い致します。緊急の場合は中村からお電話させていただきます。なお、緊急の場合はJMAへお電話いただければ、出張先でJMAから伝言・連絡を受けてお返事致します。

移動中メール：s_nakamura@mtc.biglobe.ne.jp

JMAの電話番号 03-3434-6616（名刺へ記載の電話番号と同じ）

5, その他

研修費用などに関する内容はJMA●●氏へお願い致します。

以上